



2015年度 弥生時代講座

聞いてなっとく 弥生の世界

遺跡・遺物からみた弥生時代研究

6月6日(土) 「弥生土器から土師器へ」

山本 亮 (独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 アソシエイトフェロー)
弥生時代から古墳時代へのうつり変わりを、土器を手掛かりにして考えます。
特に、二重口縁壺と呼ばれる土器を取りあげます。

考古学最前線に
立つ講師陣が
じっくり解説い
たします。

8月22日(土) 「水田灌漑システムからみた弥生・古墳時代の社会」

大庭 重信 (公益財団法人 大阪市博物館協会 大阪文化財研究所 調査課 主任学芸員)
大型の古墳が築かれた古墳時代に、弥生時代から続く水田稲作の方法はどのように変化したのでしょうか？
歴史の変化を当時の水田の灌漑システムから探ってみます。

11月28日(土) 「古墳出現前後の“前方後円墳”」

福辻 淳 (桜井市教育委員会 文化財課 主任)
「纏向型前方後円墳」から箸墓古墳まで、近年の調査成果をもとに、その実像をあらためて検討します。

2016年

2月20日(土) 「集落から見た弥生時代の終わりと古墳時代のはじまり」

三好 玄 (大阪府教育委員会 文化財保護課 副主査)
弥生時代の終わり頃、墳墓に大きな変化が生じた一方で、人々が日々生活した集落には、どんな変化があったのでしょうか？ 近年の新資料にもとづいて考えてみます。

※全4回受講された方には「講座修了証」と「記念品」をさしあげます。

場 所：弥生文化博物館 1階ホール
時 間：いずれも 14:00 ~ 16:00
(13:30 から受付)
定 員：100名 (当日先着順)
対 象：大学学部生・一般市民向け
受講料：無料 (ただし入館料が必要)

ACCESS
JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約 600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約 1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR 天王寺駅から和歌山方面行 (阪和線) 快速電車
にご乗車になり、鳳 (あとり) 駅で普通電車にお乗換え
ください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」
をご利用になると便利です。
鳳から3駅目が信太山 (しのたけ) 駅です。

国道 26 号「池上町」交差点南西角
P 普通車 72 台 (無料)



 大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture
(指定管理：公益財団法人 大阪府文化財センター)
大阪府和泉市池上町 4-8-27 TEL.0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>